

## 「ダイナミック！！雪そり大会 in KOTOBIKI」

### 1 趣 旨

- ・雪上での活動を通して、親子の絆を深める。
- ・三瓶や周辺の自然環境に触れ、冬ならではの活動を楽しむ。
- ・早寝早起き朝ごはんの運動の推進を通して、基本的な生活習慣の定着を図る。

### 2 事業の概要

- (1) 期 日 令和2年2月22日（土）～2月23日（日）【1泊2日】
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家 琴引フォレストパークスキー場
- (3) 共 催 琴引フォレストパークスキー場
- (4) 協 賛 有限会社セントラルスポーツ  
 コカ・コーラボトラーズジャパンホールディングス株式会社  
 ネオス株式会社 出雲営業所,
- (5) 対 象 主として小学生とその家族
- (6) 参加者 102名（27家族） ※募集100名（30家族程度）
- (7) 日程・内容

|             |                     |       |                  |        |                |   |       |       |
|-------------|---------------------|-------|------------------|--------|----------------|---|-------|-------|
| 2/22<br>(土) | 13:30               | 15:30 | 16:00            | 17:10  | 17:30          | 19:00                                       | 21:00 | 22:30 |
|             | そり練習をしたい場合は、事前説明・指導 | 入所    | オリエンテーション<br>開会式 | 夕べのつどい | 夕食・入浴          | 選択活動<br>① ボルダリング<br>② クラフト活動（まが玉）<br>③ 自主活動 | 就寝準備  | 就 寝   |
| 2/23<br>(日) | 6:30                | 7:00  | 7:20             | 8:30   | 10:00          | ～   | 12:00 | 12:20 |
|             | 起床                  | 朝のつどい | 朝食               | 移動     | ルール説明<br>雪そり大会 | 表彰式<br>閉会式                                  | 解散    |       |

### 3 事業の特色

本事業は今年度で実施12年目を迎える人気事業である。家族が雪上での活動を楽しみ、親子の絆を深めるために、琴引フォレストパークスキー場と連携し、ゲレンデの一面を貸し切ったそりコースをスノーレーサーで滑走する雪そり大会を開催した。企業の協賛を得ることで、雪そり大会を盛り上げることに繋がっている。

例年、雪不足により前日練習等の活動が制限されたり、参加者についてからも開催できるか不安の声が上がっている。参加者の不安解消と事業のねらいが少しでも達成できるよう次の準備を行った。

1. 少しでも積雪が期待できるよう、スキー場と調整を行い、例年より開催時期を早めた。
2. 万が一の積雪不足の事態に備え、ボルダリング体験や自主でのスポーツ活動等、室内活動でも楽しめる内容でプログラムを組んだ。

## 4 参加者へのアンケート結果

### (1) アンケートの集計

(人)

|           | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|-----------|----|------|------|----|
| 事業全体      | 20 | 4    | 0    | 0  |
| プログラム     | 19 | 5    | 0    | 0  |
| 事業の運営     | 19 | 5    | 0    | 0  |
| 職員の対応     | 22 | 1    | 1    | 0  |
| ボランティアの対応 | 18 | 5    | 1    | 0  |

### (2) 参加者の声

- ・雪が少なく残念だったが、子どもが楽しんでいた。
- ・来年はたくさん雪が降ってまた開催できることを祈っている。
- ・はじめの練習の時は危ないと感じることがあったが、その後、ボランティアの方々の誘導により、安全に活動することができた。

## 5 成果と課題

### 《成果》

- ・積雪不足により、参加者から不安の声があったが、今年度もそり大会ができる程の雪をスキー場に確保してもらい、参加者がそり大会を楽しんでいた。
- ・積雪不足により、夜の選択活動は雪を使ったプログラムから、ボルダリング体験とクラフト活動、体育館での自主活動等に変更した。参加者には好評で、活動を通して家族間での交流を深めることができた。特に、子ども用のボルダリングボードを楽しむ家族が多くいた。

### 《課題》

- ・雪不足により、事前の雪そり練習の時間が十分に確保できず、大会前半は操作に慣れない参加者から、はじめはスピードが出すぎることに不安の声が上がった。その後、スノーレーサーのブレーキ操作の時間を再度確保したことで、参加者は安定して走行できた。初めて滑走する際には、より1人1人に時間をかけて、安心して走行できるよう指導を行いたい。
- ・例年よりも開催時期を1週早めたが、十分な積雪とならず、事前のそり練習実施の判断や、スキー場のコースの長さ、狭さにより運営面で悩まされた。また、長年利用しているスノーレーサーの劣化が進行している。安全な事業実施のための実施時期や、備品整備等について、さらなる検討を要する。



はじめてのボルダリング体験



ボルダリングボードで体験



お父さんと協力してまが玉づくり



親子やお友達とバドミントンやバ  
スケットボール、卓球活動



笑顔で滑走！



親子でダイナミックに滑走！

(担当：事業推進係 福寄 成人)